

星天ニュース

第18号

発行日：平成22年12月27日

発行：横浜市道路局

編集：相模鉄道株式会社

～相鉄線の連続立体交差事業のお知らせです。～

日頃より、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今回は現在までの工事進ちょく状況等についてお知らせします。

星川駅部の鉄骨架設について

☞星川駅において高架橋の鉄骨を架設しています。

現在、星川駅中央部から海老名方の下り線側で高架橋の鉄骨架設を行っています。（写真-①、②参照）

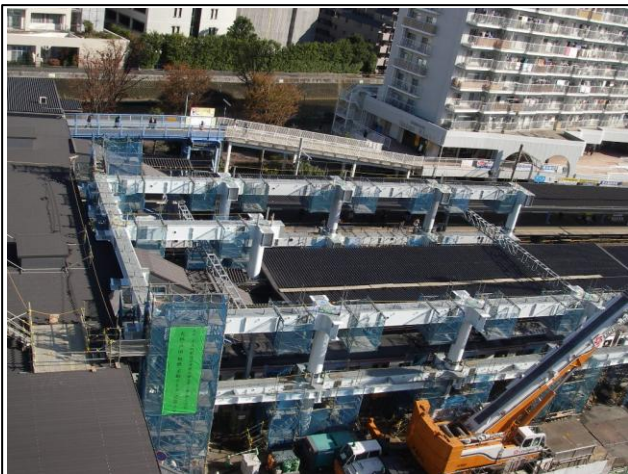


写真-① 星川駅鉄骨架設状況（横浜方）
（南側から北側を望む）



写真-② 星川駅1～3番線間鉄骨架設状況
（下りホーム横浜方から海老名方を望む）

星川駅は鉄骨による3層構造の高架橋となります。このうち2階部分には改札口ができます。また3階部分は電車が走り、乗降ホームができます。

星川駅の鉄骨架設のうち、今回は下り線側の柱と最上部の梁（緑色部）の架設を行っていきます。中層階の梁（赤色部）は、上下線が全て高架上に切替った後に架設します。

現在は星川駅中央部を中心に架設を行っていますが、来年度には星川駅の海老名方や横浜方についても鉄骨の架設を行っていく予定です。（図-①参照）

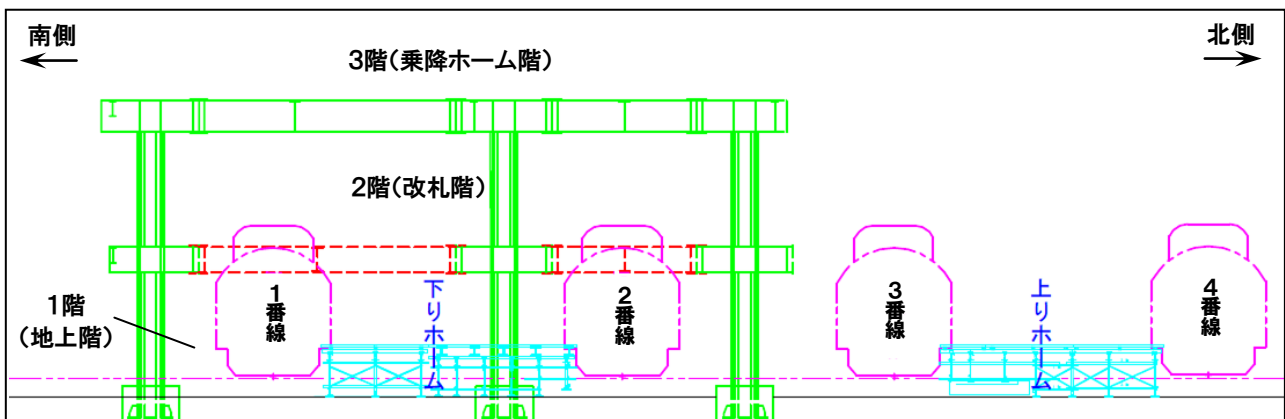


図-① 星川駅中央部付近鉄骨架設イメージ図
（今回の施工では緑部分の架設を進め、2階の床部分（赤点線部分）については、上下線が高架上に切替った後に架設を予定しています。）

既存の踏切の安全対策として踏切長の縮小工事を実施

天王町3号、星川1号踏切の踏切長が短くなりました。

星川駅1番線の線路を北側に移設したため、天王町3号踏切付近から星川2号踏切付近間において、従来広く空いていた上下線間が縮まりました。これに伴い天王町3号踏切と星川1号踏切の踏切長を短くする工事を実施しました。(天王町3号踏切：24.3m→14.3m、星川1号踏切：14.4m→9.2m)(写真-③、④参照)

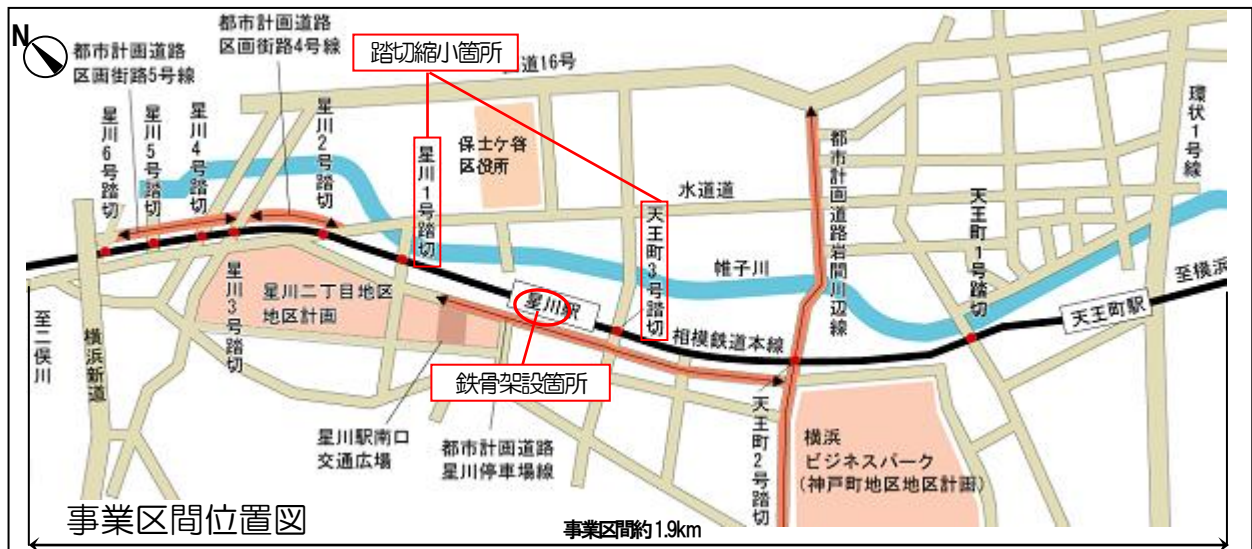
平成19年度から事業区間内の踏切長が長い状態が続いていましたが、これで全ての踏切の踏切長が短くなりました。



写真-③ 天王町3号踏切の踏切長縮小状況
(南側から北側を望む)
(踏切長を24.3m→14.3mに縮小)



写真-④ 星川1号踏切の踏切長縮小状況
(北側から南側を望む)
(踏切長を14.4m→9.2mに縮小)



～お知らせ～

星天ニュースは横浜市ホームページでダウンロードすることができます。

横浜市 星天ニュース

連続立体交差事業に関する「現在の工事状況」や「お知らせ」は相模鉄道株式ホームページでご覧いただけます。

相鉄 連続立体交差工事

～お問合せ～

- 事業に関するお問合せ……横浜市 道路局 計画調整部 企画課 鉄道交差調整担当
Tel 045 (671) 2792
- 工事に関するお問合せ……相模鉄道株式会社 星川・天王町駅付近連続立体交差工事事務所
Tel 045 (335) 6733